



Monthly YSFH News (Electronic version)

発行：横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644
HP:http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/

初夏の風もさわやかな頃となり、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年度もスーパーアドバイザーや科学技術顧問の皆様のご協力をいただき、サイエンスリテラシーやサタデーサイエンスをはじめとする本校の魅力ある取組が始まりました。4月8日に行われた【第6回 入学式】では、新1年次生となる第6期生が堂々とした姿でアリーナに入場し、「『知の開拓者』となり、仲間と共に未来を切り拓き、かけがえのない一分一秒を駆け抜けていくこと」を力強く誓ってくれました。未知の世界へ大きな一歩を踏み出し、世界で大きく輝くためにも、YSFHで学ぶ3年間で大切にしたいと思えます。

2年次生は、サイエンスリテラシーⅡが始まり、それぞれがテーマを決め、9月の分野別中間発表会、10月のマレーシア海外研修旅行での発表、1月の分野別最終発表会に向けて自身の研究に取りかかります。

今後も本校の教育活動を引き続きお引き立て賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

【横浜インターナショナルオープンデータデイ2014】（2月22日）

横浜港大さん橋国際客船ターミナルC I Qプラザなどで【YOKOHAMA International Open Data Day 2014】が開催されました。本校生徒は社会課題を解決するためのアイデア創出を目的とした「ユースワークショップ」に参加し、アプリ開発などの取組についての発表の後、グリー株式会社の方よりゲーム企画の視点から考える新しいアイデアの創り方に関する講演を聴きました。その後は、聖光学院、岩崎学園情報科学専門学校の生徒のみなさんとともに、個々のアイデアを組み合わせることで新しいアイデアを考えるワークショップを行いました。各校の生徒が混ざり合ったグループディスカッションでは、それぞれの持つ知識と考えを積極的に出し合い、活発な議論が行われていました。



【第55回 日本植物生理学会年会 高校生生物研究発表会】（3月20日）



富山大学 五福キャンパスにて【第55回 日本植物生理学会年会 高校生生物研究発表会】が行われ、本校2年次の生徒2名が参加しました。大学や研究所の研究者を前に研究成果の説明をポスター発表し、部活やグループ発表の多い中、西山 和華奈さんは個人で最優秀賞を受賞することができました。原 葉津紀さんも、受賞は逃しましたがアメリカの研究所の方と英語で受け答えするなど頑張っていました。3時間の発表でしたが、色々な方からの質問やアドバイスを受け今後のやる気につながることでできた研究発表会でした。

<研究発表テーマ>

西山 和華奈 『相利共生を確かめたい～根粒菌はマメ科植物との共生で利益を得るか～』
原 葉津紀 『光と重力における植物の屈性について』

【第16回 日本天文学会ジュニアセッション】（3月21日、22日）

国際基督教大学において【第16回 日本天文学会ジュニアセッション】が行われ、本校のサイエンスリテラシーⅡ 地球科学分野の生徒2名が、22日に発表を行いました。

研究テーマはそれぞれ『ハッブル定数の決定と宇宙年齢』『星団のHR図作成と年齢推定 一星の進化を追えー』でした。口頭発表では200人近くいる聴衆の中で発表し、研究者や高校の先生方の専門的な質問・アドバイスをいただき、大変有意義な時間となりました。午後に行われたポスターセッションでは、他校の生徒と積極的にディスカッションをすることができ、今後の研究に対する意識が高まりました。



【天文部企画 塩田 和生さん 講演会】（3月27日）



本校科学技術顧問である遠山 御幸 先生（横浜モバイルプラネタリウム代表）のご紹介のもと、元富士フィルム研究員で天体写真家の塩田 和生さんをお招きし、【天文部企画 塩田 和生さん 講演会】を実施しました。「塩田さんの天文遍歴」「天体写真の難しさとそれをどう克服してきたか」「仕事と趣味をどう関連づけてきたか」や、「フィルムカメラの時代からデジタルカメラの現在にかけて、目に見える星空を写真で同じように撮影するための様々な工夫や技術の開発」などについて、実際の写真を使って比較しながら詳しくお話いただいた他、塩田さんの撮影した写真も色々を見せていただきました。生徒からは、「今より40年も昔のまだ技術もそこまで生まれていない中であれだけ素晴らしい写真を撮っていたことや、それを可能にしたアイデアにとっても驚きすごかったです。」などの感想があがりました。

【平成25年度 後援会より寄贈 科学系オリンピック等 受賞者名揭示ボード】（3月）

「平成25年度 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 後援会」より3月に、【科学系オリンピック等 受賞者名揭示ボード】を寄贈していただきました。これは、科学系オリンピックなどで活躍した生徒名を掲示するものです。本校生徒用昇降口から入って真っ直ぐ進み、中庭を過ぎた左手にあります。オープンスクール等でご来校の際は、是非ご覧ください。



【サイエンスリテラシーⅠ 「病理学入門」】（4月14日、18日）



今年度初のサイエンスリテラシーⅠの授業【サイエンスリテラシーⅠ 「病理学入門」】では、横浜市立大学 長嶋 洋治 先生(横浜市立大学大学院医学研究科分子病理学)にご来校いただき、本校ホールにて講義をしていただきました。「細胞について」「がんについて」「がん遺伝子について」「がん抑制遺伝子について」など、医療に関心のある者にとって大変興味深い内容の講義でした。長嶋先生は、転勤の関係で18日が最後の講義となりましたので、講義終了後に、生徒から感謝のことばと花束を送りました。長きにわたりご指導いただきまして、ありがとうございました。

【サタデーサイエンス 「藤嶋 昭 スーパーアドバイザー 特別講演」】（4月19日）

今年度のサタデーサイエンス第1回を飾る、光触媒の研究の第一人者である藤嶋 昭 スーパーアドバイザー（東京理科大学学長）による特別講演が行われました。「本多・藤嶋効果」発見の話から、発想の転換による「超親水性」の活用研究、科学に繋がる文化や芸術のお話もあり、盛だくさんの内容でした。先生の約50年間の研究についてのお話から、現在取り組んでいる研究や仕事がすぐに結果に結びつくものではなくても、長い年月、柔軟な思考を持って研究を続けることによって、後世に繋がる技術と成り得るといふ希望をいただきました。質問コーナーも大盛況で、代表生徒を決めての十数人の質問となりましたが、一人ひとりに丁寧にお答えいただき、講演時間延長の会となりました。



【YSFH生がオバマ大統領歓迎行事に参加しました！】（4月24日）



国賓として来日されたオバマ大統領と日本の学生が交流を行うイベントが企画され、本校からは4名の生徒が招待されました。（SLⅡ優秀者2名、米国研修参加者1名、英国研修参加者1名）参加した生徒は、「一生忘れることのない思い出になりました」「これを機会に一層勉強しなければと思いました」「しっかりと手を握ってくれた感覚が忘れられません」などの感想を持ったようです。詳細は本校ホームページ「YSFH Diary」よりご覧ください。

【進路ガイダンス（分野別学習会）】（4月24日）

本校2年次生を対象に【進路ガイダンス（分野別学習会）】が行われ、生徒たちは16大学から来ていただいた講師の先生たちのお話を聞き、自分たちの進路を考える上で貴重な経験をしました。また、数学や化学、宇宙・地球、建築・土木工学など19分野に分かれ、自分の興味や関心に応じて2つのセミナーに参加しました。講師の方々の中にはパワーポイントによる概要説明に加え、実験を目の前で見せてくれる方もおり、生徒は興味津々でした。生徒一人ひとりが自分たちの進路を考える、とても有効な機会となりました。



5月

- 1日：第1回和田サロン
- 7日：開校記念日(1限記念講話)
- 9日：サンモールサイエンスフェア
- 25日 - 31日：シンガポール国際数学チャレンジ
- 28日 - 6月2日：セントジョージ女子高国際会議
- 31日：オープンスクール

6月

- 7日 - 12日：姉妹校David Thompson Secondary School来校
- 13日：体育祭
- 14日：全公立展(パシフィコ横浜)
- 25日 - 26日：Kolej Yayasan Saad来校